

# 令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

森林保全課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園（ひろしま遊学の森）		
所在地	広島市東区福田町 10166-2		
設置目的	○緑化に関する知識及び技術の普及 ○緑化の推進		
施設・設備	面積 124.97ha, 管理事務所・展示館等（4棟）, 遊歩道（12,000m）, 駐車場（474台）等		
指定管理者	5期目	H29.4.1～R4.3.31	ひろしまの遊学の森管理グループ
	4期目	H28.4.1～H29.3.31	みずえ緑地(株)
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	みずえ緑地(株)
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	みずえ緑地(株)
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	みずえ緑地(株)

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R1		98,000人	101,393人	17,906人
H30			98,000人	83,487人	△10,904人	△14,513人(85.2%)
H29			98,000人	94,391人	1,056人	△3,609人(96.3%)
4期		H28	96,870人	93,335人	△4,195人	△3,535人(96.3%)
3期平均		H23～H27	96,870人	97,530人	△1,175人	660人(100.7%)
2期平均		H20～H22	93,900人	98,705人	4,769人	4,805人(105.1%)
1期平均		H17～H19	93,600人	93,936人	12,513人	336人(100.4%)
		H16(導入前)	—	81,423人	—	—
増減理由	○閉園中の広島市森林公園の利用客であるファミリー層の来園による増加 ○暖冬及び桜の開花時期が早かったことによる冬季・早春の利用者の増加					

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者へのアンケート調査	施設利用者・研修会参加者等 992人
	【主な意見】	【その対応状況】
	遊具を充実させてほしい。	緑の相談所建屋内に木製遊具 2基, 多目的広場に遊具を 2基設置した。
樹名板の充実をお願いします。	園内に樹名板 300枚, 大型標識 2基を設置した。	
整備されていて気持ちが良い。広報活動の充実をしてほしい。	HPを見やすく改良し, こまめな更新に努めた。またユーチューブの公式チャンネルを開設した。	

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報(必要随時)	○ 施設の老朽・損傷状況等
管理運営会議(3回)	【特記事項等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時シャトルバスの運行等の利用策を広島市森林公園と協議</li> <li>県, 市両園合同会議及び活性化委員会については新型コロナウイルス感染拡大防止のため, 書面決議により開催し, 次年度事業計画へ反映</li> </ul>
現地調査(2か月毎に実施)	【指定管理者の意見】	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズに対応した既存設備の有効活用による県民サービスの向上と利用の促進</li> <li>マニュアルに基づく定期点検の実施による安全対策の強化</li> </ul>
	【県の対応】	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設再整備工事により, 被災施設の復旧を行うとともに遊具やベンチ等のサービス施設を充実</li> <li>樹木点検を行い, 点検結果に基づき, 危険木や支障木伐採を実施</li> <li>設備の老朽箇所の点検・把握を行い, 緊急度の高い設備から修繕を実施</li> </ul>

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	5期							
		R1	61,176	1,176	—	—	—	
		H30	60,000	0				
		H29	60,000	3,430				
	4期	H28	56,570	820				
	3期平均 H23~H27		55,750	2,500				
	2期平均 H20~H22		53,250	△3,210				
	1期平均 H17~H19		56,460	△5,794				
	H16 (導入前)		62,254	—				

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	61,176	60,000	1,176	消費税率引き上げに伴う増
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	61,176	60,000	1,176	
	支出	人件費	30,493	28,310	2,183	引継ぎによる職員の増(7-12月期, 1名)
		光熱水費	1,905	1,947	▲ 42	
		設備等保守点検費 清掃・警備費等	6,789	6,945	▲ 156	レストハウス臨時休業による, 清掃費の減
		施設維持修繕費	3,085	7,789	▲ 4,704	災害復旧工事の完成による減
		緑地管理費等	9,838	6,463	3,375	昨年度は施設維持修繕費に充当していたため
		事務局費	4,815	4,826	▲ 11	
その他		4,258	3,727	531	消費税率引き上げに伴う納税額の増	
計(B)		61,183	60,007	1,176		
	収支①(A-B)	△7	△7	0		
自主事業 (※)	収入(C)	0	0	0		
	支出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		△7	△7	0		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	広島市森林公園の研修会受け入れや進入路の提供、「ひろしま遊学の森」ネイチャーマスター認定制度の新設など、県市連携の取組を強化されている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	幅広い年齢層の利用者を対象に施設の設置目的に沿った利用促進を図る積極的な取組が行われている。
		ボランティアと協働で、施設管理や緑に親しめる環境づくりに取り組んでおり、ボランティアの育成と併せ、コストダウンを図る工夫がなされている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	近年の子供やファミリー層の増加の流れを的確に捉え、サービス向上や園内整備の取組が行われている。
	○施設の維持管理	緑化相談(578回)や各種研修会(57回 出席者1,362人)を実施し、施設目的に沿った業務を行っている。展示企画やイベント内容を利用者が求める内容に随時変更し、利用者の増を図っている。 施設点検マニュアルに基づき適切に点検を実施しており、安全面に十分注意した管理運営が行われている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	勤務ローテーションの調整や業務直営化による運営の効率化、若手職員と経験豊富な職員を配置し、適正な運営が行われている。
	○効率的な業務運営	委託業務を同一業者に対して発注、複数年契約するなど市森林公園との共同管理により業務効率化、経費節減に取り組んでいる。
	○収支の適正	また、定期点検によって施設現況を的確に把握し、予算内で適切な施設修繕が行われている。
総括	広島市森林公園との連携をさらに推し進めるとともに、当初提案してきた植物園の再生を推進すべく、湿地植物園の再整備を行い、今後の利用者増に向けた準備を整えた。 一方、3月期には新型コロナウイルス感染防止対策により、研修会やイベントを中止する事態となった。今後、感染拡大防止の措置を徹底するとともに正常化後の運営管理に向けた準備を進める必要がある。	広島市森林公園との連携や、施設の設置目的に沿った取組、積極的な広報、植物の専門知識を活かした取組が行われ、施設の利用促進が図られている。 また、老朽化が進む施設の維持管理を予算の範囲で適切に行っているほか、3月期の新型コロナウイルス感染防止対策では、国県の示した基準により適切に措置を講じており、利用者の安全確保を図られている。

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	○広島市森林公園との一体的な運営管理による活性化と課題の抽出及び対応 ○公園運営・情報の発信	○広島市森林公園との一体管理の課題や集客効果の検証 ○危険木処理や老朽化施設の修繕実施
中期的な対応	○利用者増に向けた魅力ある施設づくり  ○老朽化施設の計画的な修繕	○検証結果を踏まえた集客増に向けた取組や効果的な施設運営 ○老朽化施設の計画的な修繕